

読書活動の充実に向けて

学校司書やボランティア、各校の担当教員が連携し、図書の分類・整理、図書室の環境整備、図書の選書や廃棄の計画の作成、学習指導に必要な資料の準備、読書活動に関する学校行事の支援など、学校図書館としての運営をすすめています。

また、読書感想文コンクールに応募のあった作品から選ばれたものを、子どもたち自身が発表する場として読書感想文発表会を開催しています。読書の大切さを伝え、さらには、読書意欲の向上を促し、読書活動をより一層推進させることで、子どもたちの「読む力」「書く力」「伝え合う力」の育成を図ります。

学校・家庭・地域の連携が学ぶ力を付ける

確かな学力を育むためには、よりよい授業づくりとともに、家庭での自主学習に取り組む習慣を身につけることが重要です。特に家庭学習については、家庭・地域のご協力が子どもの意欲につながります。

保護者の皆さんへ

▽子どもが健やかに、規則正しく生活できるよう家庭環境を整えてください。

- ・早起きで、登校前にゆとりの時間をつくるようにしてください。
- ・朝ごはんを毎日摂らせてください。

▽子どもが自ら進んで学習できるように、話し合しましょう。

- ・学習の計画を立てさせる。
- ・子ども自身の興味や関心のあることから、楽しみながら自主学習を勧める。

▽本に親しむ習慣を子どもに身につけさせましょう。

- ・読みたい本を図書館などで一緒に見つける。
- ・辞書や図鑑などを身近に置き、子どもがいつでも調べられるようにする。



図書館



見守り



本の読み聞かせ

地域の皆さんへ

▽学校支援ボランティアとして協力してください。

- ・学習支援活動：授業の補助や放課後学習
- ・学校図書館支援：読み聞かせや図書の整備
- ・環境整備活動：花壇づくりや野菜の栽培など
- ・クラブ活動や特別活動の支援：指導の補助など

▽参観

- ・学校の授業や行事などを見にきてください。

▽見守り

- ・登下校や放課後の様子など、子どもの安全を見守ってください。

今後ご理解ご協力をお願いします。

なお、市ホームページに、詳しい調査結果を掲載していますので、ご覧ください。

☎学校教育課 ☎06-6995-3151

学力向上に向けて

現在、各学校では「学ぶ意欲の向上」「言語活動の充実と言語力の育成」「自学自習力の育成」を目指す、義務教育9年間の枠組みで学力を把握し、各中学校区の学校が連携しながら、学力向上にむけた取り組みを行います。

よりよい授業に向けて

各学校では、子どもが主体的に学習する「分かる・できる」授業を目指した授業づくりを行うため、校内での研修などにより教員の指導力向上に努めています。

研修では、各学校の研修テーマをもとに代表のクラスで研究授業を行い、教職員全員で意見交流を行い、授業に生かすようにしています。

また、中学校等では学習につまずいている生徒にきめ細やかな指導を行うため、臨時教員を活用した少人数指導を行っています。

自学自習力の育成に向けて

放課後学習

小学校等では地域のボランティアの協力のもと、児童の学びを応援する「学習支援サポーター」を派遣し、また、中学校等では臨時教員を活用し、放課後の時間を活用した放課後学習教室を実施しています。

家庭学習冊子

中学校等生徒の家庭学習習慣の確立や自学自習力の育成を図ることを目的に、国語・社会・数学・理科・英語の復習用ノートとして、家庭学習冊子「毎日チャージ！元気もりもりブック」を作成し、1・2年生の全生徒に配布しています。

土曜日学習

基礎基本の定着と、学ぶ意欲の向上を図るため民間事業者を活用(委託、事業者(株)トライグループ)した土曜日学習「もりもりスタディルーム～もりスタ～」を研究指定校2校(庭窪小学校・藤田小学校)で開催しています。

詳しく教えてもらえて、勉強が楽しい♪



菊池圭祐さん
(株)トライグループ・事業責任者

「子どもの“わかったつもり”を言葉のキャッチボールで見つけ“わかった”瞬間に小さな成功体験ができて、さらには「頑張ったね！できたね！」と褒めてあげることによって子どものやる気はあがります。

「子どもたちの未来は私たちの関わり方で変わります」家庭教師のトライは子どもの夢を叶えるために今後も子どもたちの未来を切り開く“きっかけ”を与えていきます。

「子どもたちに呼び掛けるとき、来たいという反応があり、第1回目の帰り際にも、“楽しかった”という声を聞いていい取り組みだと実感しています」

少人数制でわからないところを丁寧に教えてくれることで、子どもたちの評判はとてよかったです。

「もちろん月曜日～金曜日の授業をわかりやすく楽しくするのが教職員の仕事ですが、それとともに休みの日にも学習する習慣を付けることも大事で、土曜日学習がそのきっかけになることを願っています」

友達とも交流をしながら、学校の授業でわからなかったことの振り返りにもなります。

土曜日学習の輪を広げるには、地域やPTAの皆さんの協力が必要になります。休日に学習の場を提供することは子どもたちの可能性を広げます。



廣瀬 浩
庭窪小学校校長

“続けていきたい！やってみたい”と子どもたちの声があり、はじめは、不安を持っていた子どもたちの意識は変わってきています。

「冗談を交えながら、わかりやすく教えることが大切」と阪井田さん。お互いの緊張をとるためにも、笑顔でコミュニケーションをとりながら子どもたちも、自分自身も楽しくやることを心がけています。

「勉強をせなあかん、させられている。といった押しつけ感を緩和し、子どもたちの“もっと学びたい”を引き出したいですね」



阪井田尚宏さん
(学習指導員)